

報 告 書

開催日時	平成 27 年 10 月 20 日 (火) 19 : 00 ~ 21 : 00	
開催場所	上津江振興局	
出席議員	(1 班) 嶋崎、高瀬、石橋、日隈、三苫	
	班 長	高瀬
	司 会 者	高瀬
	記 録 者	三苫
参加人数	29 名	
主な要望 ・ 提 言 等	○A氏 1. 県、市町村を越えた広域的な連携施策が必要である。 定住自立圏構想策定の際、近隣の玖珠・九重町との連携を協議したが、調整ができなかった。	
	○B氏 1. 周辺部は、人口減や高齢化により危機的な状況にある。これらの施策をぜひとも実行に移してもらいたい。 今後、重点課題と施策を取りまとめ市長に提言する。	
	○C氏 1. 医療、交通、福祉、住宅、雇用と課題の山積みである。周辺部対策はどうなっているのか。 路線バス等公共交通対策が取られているところでは、民業を圧迫しないということからデマンドバス等の運行はできない。 地域おこし協力隊の配備されている地区では、協力隊の支援も得る必要がある。	
	○D氏 1. 農業施策について具体的な説明がない。農地中間管理機構の中山間地域に即した制度への改革が必要である。 具体的な農業施策について、農業委員会とも協議中である。農地中間管理機構の目的は、大規模農家の育成であり、農地を集積することにある。山間地域では、中山間地域交付金を活用して、担い手育成を図るのも一つの方法である。	

○E氏

1. 農林業生産指導の市、県、農協の対応が不十分である。

専門職員の育成や県等関係機関との協議や連携が必要である。関係機関同士の連携を図っていく。

○F氏

1. 学校給食への地産地消を導入すべき。せめて九州産 100%の目標を。

学校給食では、安定的な供給が課題である。地産地消は重要な課題であり今後課題を検討していく。

○G氏

1. 台風後、道路に杉の葉が散乱して非常に危険である。地区住民で片付けるのは無理である。市の対応を望む。

振興局で対応できると思う。

○H氏

1. 在宅介護の助成措置を充実して欲しい。

要介護3以上でなければ特養に入居できなくなった。施設入居希望が多い中、国は在宅介護を進めている。在宅福祉は、課題が多く、議会としても真剣に取り組んでいかなければならない。

<その他の意見>

1. 市営住宅の入居要件緩和（特高賃住宅）

2. 道路等インフラ整備

3. 資料にある施策全ては実行できない。重点施策・事業を選定すべきである。

4. デマンドバスが大型化したため、軒先まで来られなくなった。小型車で対応できないのか。

5. 副市長2人制については賛成できない。部課長等幹部職員が市長を支えていかなければならない。また、職員OB等の活用も考えられる。

6. 議員にも上津江に足を運んでもらい、地域の現状を見てもらいたい。